

# 弥富市立十四山中学校で防災講座を行いました

令和6年11月29日（金）、弥富市立十四山中学校で3年生47名に防災講座を行いました。昨年につき2回目の実施です。学校は、宝川と筏川に挟まれた海拔0メートル地帯に位置し水害リスクが高い地域にあります。

講座では、弥富市で甚大な被害のあった伊勢湾台風、東海豪雨でも発生した線状降水帯などについて学習しました。また、三河地方に被害を及ぼした令和5年6月2日の台風2号と梅雨前線による豪雨も確認し、「線状降水帯の発生場所が少しずれていたら弥富市でも浸水していたかもしれない」と、自分事として捉える大切さを伝えました。

伊勢湾台風A | 語り部「伊勢湾太郎さん」との対話体験では、伊勢湾台風についての三択問題を出してもらったり、英語で質問している生徒もいました。「台風が来たら何をすればいいの?」「台風に巻き込まれるとどうなるの?」など、対話を通して理解を深めていました。

また、VRによる浸水疑似体験では、体験後に「どの避難行動を選んだのか」「実際に起きたらどうやって動くか」など、避難について友達と話し合っていました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

